



市長へ答申書を渡す男女共同参画社会づくり市民検討委員会の金澤会長

はあもにいプラン21を答申

～男女共同参画社会づくり
市民検討委員会～

昨年12月に市が設置した男女共同参画社会づくり市民検討委員会が、8月27日(火)、『登別市男女共同参画基本計画・愛称：のぼりべつ・はあもにいプラン21』（以下「計画」）の策定作業を終え、市に答申しました。

この「計画」は、登別市の男女共同参画社会の実現を目指すため、男女平等を土台に「心を合わせ、力を合わせ、助け合って」男女が共同で参画し、男女平等社会づくりを推進するための具体的な指針となるもので、「男女の人権が尊重される社会の実現」や「男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現」「雇用等の分野における男女平等の実現」など4つの目標を掲げ、目標を達成するために「意識変革のための普及啓発活動の推進」や「政策・方針決定の場への参画促進」などの基本的な施策の方向を示しています。

市は、この「計画」に基づき、平成15年度からさまざまな施策を展開することとしています。



慎重な審議を重ねた検討委員会

スポーツの秋を満喫

～市民スポーツフェスティバル～

9月1日(日)、岡志別の森運動公園で、文化・スポーツ振興財団主催の『市民スポーツフェスティバル』が行われました。



この催しは、スポーツを通して市民の健康増進を図ろうと毎年行われているもので、市民ソフトボール大会、市民パークゴルフ大会、市民駅伝競走大会のほか、今年は新たにカナダ生まれのニュースポーツ・キンボール大会が加わり、約600人の市民がスポーツの秋を楽しみました。

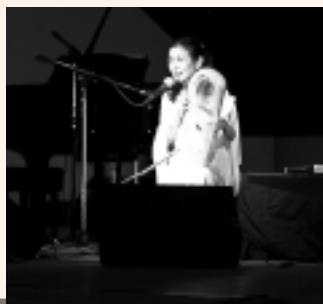
駅伝競走の中継地点では、応援の家族などから盛んな声援を受けながら、ランナーたちが力いっぱいの走りを見せていました。

銀のしずくが美しい音色に

～木村弓コンサート『銀のしずくの夕べ』～

9月14日(土)、市民会館で木村弓コンサート『銀のしずくの夕べ』が開催されました。

このコンサートは、『アイヌ神謡集』を残した知里幸恵の生誕100年を来年迎えるのを記念し、知里幸恵の姪・横山むつみさんが主宰する『知里森舎』と文化・スポーツ振興財団の主催で開かれたもので、横山さんらのアイヌ神謡集序文の朗読などに続き木村弓さんが登場。平成3年に木村さんが作曲しアイヌ神謡集の一節を歌詞にした『銀のしずく』を、ドイツの竖琴・ライアーを弾きながら歌い始めると、会場を訪れた約700人の市民は、澄んだ歌声と竖琴の美しい音色に聞き入っていました。



4団体の方が市長と懇談

～市長室フリータイム～



8月21日(水)、市長室フリータイムが行われ、4団体5人の方が市長室を訪れました。

この市長室フリータイムは、市民のみなさんがまちづくりなどについて、市長と気軽に話し合う機会を広げるため、平成元年から毎年行っているものです。

この日訪れたのは、ユニセフ室蘭市友の会、幌別小学校図書ボランティア、胆振障がい者花づくりネットワーク、図書館を考える会に所属し、日ごろから熱心に活動しているみなさん。それぞれの活動状況や今後の目標などを市長に話し、理解を求めています。